

令和元年度

# 「障害者週間」啓発ポスター 及び体験作文コンクール

## 【募集要項】

12月3日から12月9日は  
「障害者週間」です。

「まごころでつながる社会をめざして」  
楊 周也 さん (京都芸術高等学校3年)  
平成30年度「障害者週間」啓発ポスターコンクール最優秀作品

心ふれあう社会の実現をめざして  
京都府

「普通」

中林 静花 さん (向日市立勝山中学校2年)  
平成30年度「障害者週間」体験作文コンクール最優秀作品

「まごころでつながる社会をめざして」  
楊 周也 さん (京都芸術高等学校3年)  
平成30年度「障害者週間」啓発ポスターコンクール最優秀作品

【応募締切日】

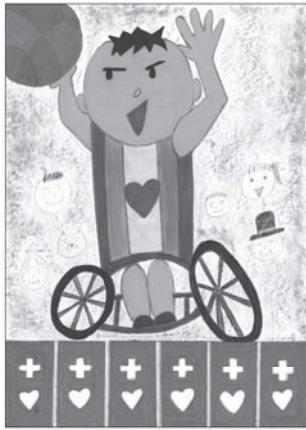
9月5日 木

京都府では、障害者に対する正しい理解を深め、障害者福祉の輪をさらに広げるため、皆さんの体験や思い出をポスターや作文にいただき、「障害者週間」(12月3日～9日)の啓発に活用していきます。  
多数の御応募をお待ちしています。

### 主 催 京 都 府

# ◆「障害者週間」啓発ポスター及び体験作文の募集内容

	ポスター	体験作文
応募内容	「障害者週間」及び障害者福祉の啓発を内容とした作品としてください。	
テーマ	障害の有無にかかわらず誰もが能力を發揮して安全に安心して生活できる社会の実現	出会い、ふれあい、心の輪 —障害のある人とない人との心のふれあい体験を広げよう—
応募資格	京都府内に在住又は在勤、在学の人 〔個人、グループも可〕	京都府内に在住又は在勤、在学の人
募集区分	「小学生」の部 「中学生」の部 「高校生・一般」の部	「小学生」の部 「中学生」の部 「高校生・一般」の部
規格、画材制限字数等	画用紙B3判縦長（横364mm×縦515mm）を使用〔画用紙四ツ切り（横382mm×縦542mm）でも可〕彩色及び画材は自由 <u>作品のサイズ等確認の上作成すること。</u>	400字詰め原稿用紙（B4判縦書き） 「小学生」の部 } 2～4枚程度 「中学生」の部 } 「高校生・一般」の部 — 4～6枚程度
表現上の注意点	作品の題は自由とし、内容は、障害者に対する理解促進に資するものとし、障害のある人とない人との相互理解・交流等を造形的表現で訴えるものとする。 <u>小学生の部・中学生の部の募集作品には、標語その他の文字は入れない。</u>	作文の題は自由とし、内容は、障害のある人とない人との心のふれあいの体験をつづったものとする。
募集期間	令和元年7月1日（月）～9月5日（木） 締切厳守	
応募先及び問い合わせ先	応募票に住所、氏名、題名等の必要事項を記入して、作品の裏面に貼り、次のところへ郵送又は持参してください。 〒602-8570 京都市上京区下立売通新町西入 京都府健康福祉部 障害者支援課 スポーツ・文化芸術等社会活動推進担当 TEL 075-414-4599 FAX 075-414-4597	
選考、発表	選考は、主催者及び主催者が委嘱する者により行います。 発表は、令和元年11月中旬以降に入賞者本人あてに通知するほか、新聞社に対し公表します。	
表彰等	入賞は、最優秀作、優秀作、佳作とし、賞状及び副賞を授与し、表彰します。（12月に予定） ・最優秀作 1点 ・優秀作 約4点 ・佳作 約10点 （該当作品がない場合もあり） ※ なお、「小学生」の部「中学生」の部の優秀作各1点については、内閣府の同コンクールに推薦します。 ※ 最優秀作は、京都府が作成する「障害者週間」啓発ポスターに使用します。	入賞は、最優秀作、優秀作、佳作とし、賞状及び副賞を授与し、表彰します。（12月に予定） ・最優秀作 1点 ・優秀作 約4点 ・佳作 約5点 （該当作品がない場合もあり） ※ なお、「小学生」の部、「中学生」の部、「高校生・一般」の部の優秀作各1点については、内閣府の同コンクールに推薦します。 （「高校生・一般」の部については、高校生から1点、一般から1点の計2点を推薦することがあります。）
展示	入賞作品は、京都府庁2号館1階で、11月20日（水）～22日（金）に展示（ポスター：最優秀作品ほか入賞作品、作文：最優秀作品）するほか、11月中旬頃に京都府ホームページにて公表（ポスター：最優秀作品ほか入賞作品、作文：最優秀作品）し、別途全応募作品の展示も予定しています。（ただし、体験作文は最優秀作品のみ展示）	
その他	応募作品は、未発表のものに限ります。 なお、応募作品は、原則として返却する予定です。ただし、展示の関係で、作品が破損することもありますので、ご了承ください。 また、入賞作品の著作権は京都府に帰属します。	



小学生部門 優秀賞(内閣府推薦)  
「どんなことにもチャレンジ!」  
古川 千梅(木津川市立南加茂台小学校6年)



中学生部門 優秀賞(内閣府推薦)  
「歩きスマホはやめましょう」  
恵 蓮(久御山町立久御山中学校2年)



小学生部門 優秀賞  
「ぼくにもできるかな」  
松下 航大(木津川市立南加茂台小学校3年)



中学生部門 優秀賞  
「段差はいらない 心も同じ」  
田中 利樹(福知山高等学校附属中学校2年)



※記入しないでください

## 【ポスターの部】

「障害者週間」啓発ポスターコンクール応募票							管理番号	
題名								
フリ 氏名	がな 名	障害の有無	有・無	性別	男・女	年齢	歳	
住所	〒 _____ 電話 ( _____ ) _____ - _____							
学校名 (勤務先名)	_____ 電話 ( _____ ) _____ - _____					学年	年	
この絵を描こうと思ったきっかけは…								

※ この応募票に必要事項を記入して、作品の裏面に貼ってください。

## 【体験作文の部】

※記入しないでください

「障害者週間」体験作文コンクール応募票							管理番号	
題名								
フリ 氏名	がな 名	障害の有無	有・無	性別	男・女	年齢	歳	
住所	〒 _____ 電話 ( _____ ) _____ - _____							
学校名 (勤務先名)	_____ 電話 ( _____ ) _____ - _____					学年	年	
この作文を書こうと思ったきっかけは…								

※ この応募票に必要事項を記入して、作品の裏面に貼ってください。

# 12月3日～9日は 「障害者週間」です。

## 「障害者週間」とは

「障害者週間」は、平成16年6月の障害者基本法の改正により、国民の間に広く障害者の福祉についての関心と理解を深めるとともに、障害者が社会、経済、文化その他あらゆる分野の活動に積極的に参加する意欲を高めることを目的として、従来の「障害者の日」(12月9日)に代わるものとして設定されました。

## 「京都府障害のある人もない人も共に安心して いきいきと暮らしやすい社会づくり条例」

京都府では、障害のある人もない人も、全ての府民が、障害の有無によって分け隔てられることなく、相互に人格と個性を尊重し合いながら、共に安心していきいきと暮らせる共生社会の実現を目指す条例を制定しております。この条例に基づき、障害の有無にかかわらない共生社会の実現に向けて、施策を推進していきます。

## 心ふれあう社会の 実現をめざして

### 【「障害者週間」啓発ポスター及び体験作文】

#### 応募先及び問い合わせ先

〒602-8570 京都市上京区下立売通新町西入  
京都府健康福祉部 障害者支援課  
TEL 075-414-4599 FAX 075-414-4597

#### 後 援

京都府教育委員会、京都府市長会、京都府町村会、(福)京都府社会福祉協議会、(福)京都府社会福祉事業団、(一社)京都府身体障害者団体連合会、京都障害児者親の会協議会、(公社)京都精神保健福祉推進家族会連合会、京都府障害厚生施設協議会、京都知的障害者福祉施設協議会、京都精神保健福祉施設協議会、きょうされん京都支部、京都新聞、朝日新聞京都総局、毎日新聞京都支局、読売新聞京都総局、産経新聞社京都総局、NHK京都放送局、KBS京都、エフエム京都